

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名	ボランティア表彰事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	総務部	課長名 松田 勝
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	企画課	担当者名 宮崎 早香
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成		所属班	企画広報班	(内線) 1256
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11542	根拠法令 合志市ボランティア表彰実施要綱	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市長マニフェスト項目として事業を企画した。平成23年10月19日に合志市ボランティア表彰実施要綱を制定した。ボランティア活動を通じて社会に貢献されている個人や団体の更なる活躍を期待し、感謝の気持ちを表すとともに、広く市民へボランティア活動の輪を広げていくことを目的として、熊本県ボランティア月間である11月に、年1回の表彰を行なう事業である。被表彰者は、市内の各種団体の長(区長、社協、ボラ連)または市の部局長に被表彰者の推薦を依頼し、推薦された候補者を書類審査により決定し、ボランティア表彰登録名簿に登録する。平成23年度は市ボランティア連絡協議会に推薦を依頼し、市社会福祉協議会主催の「ふれあい館フェスティバル2011」におけるイベントとして合併5周年の節目の年に第1回表彰式を実施した。平成24年度以降は、表彰式に合わせボランティア実践している団体等の事例発表を行ない、合志市文化会館で表彰式を実施している。平成27年度は合併10周年記念事業として「合志市秋まつり」内で行った。平成28年度は、熊本地震により例年開催しているウィーブルの被災により、ふれあい館でふれあいフェスティバル2016と合同開催とした。また、菊池恵楓園盲人会からの推薦があり、被推薦者が大阪在住のため、別に感謝状贈呈式を行った。
【業務の流れ】	例年、各区(自治会)、企業連、市内小中学校、民生委員・児童委員、市ボランティア連絡協議会などから推薦された個人や団体に対し、感謝状を授与する。表彰対象者は個人、団体ともに限定しないが、状況に応じて限定する必要がある場合は、合志市総合政策審議会へ諮問し、選考を行うこととしているが、平成29年度は、ふれあいフェスティバル2017との合同開催のため、時間が制限されることが想定されたことから、各区(自治会)、市ボランティア連絡協議会、市社会福祉協議会からの推薦としたが、19組の推薦があった。
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	平成24年度、環境衛生課から、市として環境美化委員の表彰を行ないたいと検討していたところであり、企画課のボランティア表彰式で長年環境美化委員としてがんばってくれた市民を表彰してほしいとの打診があり、推薦された該当者を表彰した。平成27年度は、県のボランティア大会と期日が重複したため、開催期日の決定の際は注意するよう参加者からの意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

① 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
令和1年11月10日、ふれあい館で「ふれあいフェスティバル2019」合同で第9回表彰式を実施した。(個人:5人 団体:6団体)		表彰式の実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 個人表彰	人	
イ: 団体表彰	団体	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
ボランティア活動を行っている個人と団体	→ ア: ボランティア活動を行っている個人(社協ボランティアセンター登録数)	人
	イ: ボランティア活動を行っている団体(社協ボランティアセンター登録数)	団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
感謝の気持ちを表すことで市民にボランティア活動を広げる	→ ア: ボランティア年間活動延べ人数(個人)(社協ボランティアセンター実績)	人
	イ: ボランティア年間活動延べ人数(団体)(社協ボランティアセンター実績)	人
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
社協主催の「ふれあいフェスティバル2018」の中で実施し、日程を考慮し平成29年度は平成28年度実績程度と設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込
① 活動指標	ア 人		9	5	10	5	10	10	10	10
	イ 団体		2	3	5	6	5	5	5	5
② 対象指標	ア 人		75	83	130	80	135	140	140	140
	イ 団体		89	88	110	90	115	120	125	125
③ 成果指標	ア 人		1,900	1,280	2,000	1,100	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ 人		17,000	17,000	10,000	17,000	10,000	10,000	10,000	10,000
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	10	35	43	32	43	30	30
	(A) 事業費計	千円	10	35	43	32	43	30	30	30
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	10	3	10	10	10	0
	延べ業務時間	時間	175	280	100	320	100	100	100	0
	(B) 人件費計	千円	692	1,103	398	1,268	398	398	398	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	702	1,138	441	1,300	441	428	428	30

